

私たちはこんな Smart Wellness Community を目指しています

5年後には

- 国民の7割にのぼる健康づくりへの無関心層。その半分の人の意識をUP!
- 健康情報を周囲の人に伝え波及していく“健康長寿推進員(仮称)”を20万人に!
- 高齢者世代のICTリテラシーを向上。コミュニケーション活動に生かします。

ICTでいつでも自分の身体のデータがチェックできて「やる気」が続く!

住民の健康データを分析し、その地域ならではの健康づくりを推進。自分や地方の個性に合わせた、わかりやすい指導をもらえる。

いつも会いに来る保険外交員が健康長寿推進員になった。健康的な食生活のヒントや運動教室の情報まで教えてくれ、話すのが楽しみ。

エレベーターではなく階段を使ったら、ポイントゲットできるうえに筋力もアップ!

公共交通が便利だから、買い物や趣味によく外出。毎日が充実しています!

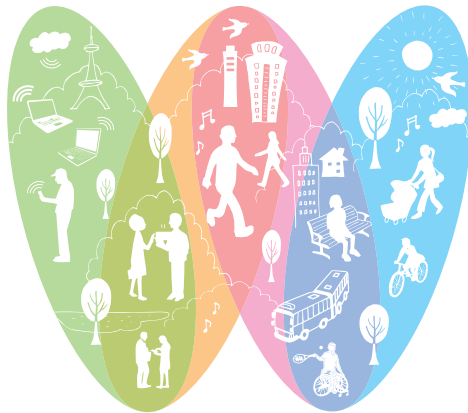
市場や病院、図書館...必要なものがコンパクトに集まっている街なので、歩いて生活を楽しめる。

“歩ける街”のおかげで歩数が自然と増えた。

遊歩道ができたおかげで、散歩が楽しい!

公園で知り合ったおばあちゃんとの、毎日のおしゃべりが憩いのひととき。

スーパーの駐車場。遠くに車を停めて歩くちょっとした努力でポイントもらえた!



【オブザーバー(関係省庁)】

厚生労働省

オブザーバー代表

内閣府

総務省

文部科学省

経済産業省

国土交通省

会員企業・関連団体
企業会員：51社(登録企業66社)
非営利法人・団体会員：23団体
自治体会員：14自治体
有識者：23名
平成27年10月30日現在

関連領域に参加

運営組織

スマートウェルネスコミュニティ協議会

会長:大内副義(虎の門病院長) 副会長:久野譜也(筑波大学教授)

ヘルス&ICTリテラシー向上プロジェクト

リーダー:久野譜也(筑波大学教授)

- 自治体の健康長寿推進委員の養成をサポート、インフルエンサー機能強化により住民リテラシーを向上させる
- 総合的な健康情報を“コミュニティを介して住民に伝達する”システムを構築
- ICTの活用により地方部でも情報格差が生まれにくい仕組みを考案

【アドバイザーボード】

鴨下一郎

アドバイザーボード代表
自民党衆議院議員

加藤勝信

自民党衆議院議員

遠藤利明

自民党衆議院議員

古川元久

民主党衆議院議員

上川陽子

自民党衆議院議員

足立信也

民主党参議院議員

中川俊直

自民党衆議院議員

小松 裕

自民党衆議院議員

津島 淳

自民党衆議院議員

三宅伸吾

自民党参議院議員

辻 哲夫

東京大学高齢社会総合研究機構
特任教授

村上周三

建築環境・省エネルギー機構
理事長

インセンティブ制度・ビジネス分科会

座長：駒村康平
(慶応義塾大学教授)

- 自助努力を引き出す効果的なインセンティブ制度の設計・提言
- 健康寿命延伸に関する多様な民間サービスの創出

健康長寿推進員・人材育成分科会

座長：下光輝一
(健康・体力づくり事業財団理事長)

- 健康長寿推進員を自治体に組織化するための環境整備(定義や資格認定など)
- 自治体担当者の研修カリキュラム整備など

データヘルス・ICT分科会

座長：津下一代
(あいち健康の森健康科学総合センター長)

- データヘルス知見の拡大と啓発、施策への展開能力の向上
- 高齢者のICTリテラシー向上
- ICTの貢献できる領域や課題を調査、産学官の取り組みに反映

スポーツレガシー分科会

座長：河野一郎
(東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会副会長)

- スポーツ庁への政策提言(無関心層、各世代及び障害者へのスポーツによる健康づくり普及システム策定)
- 自治体担当者及びスポーツ指導者の施策構築力・指導力向上

まちづくり分科会

座長：岸井隆幸
(日本大学教授)

- 健康長寿社会を導く都市モデルの検討
- 「スポーツ・健康・医療・福祉」と都市政策・住宅政策のリンク、その好事例発掘と横展開
- 交通行動と医療費の関係など基礎情報分析

連絡先:

【企業の方】(株)みずほ銀行 産業調査部 戦略プロジェクト室 E-Mail:swckyogikai.jimukyoku@mizuho-bk.co.jp 03-6838-1674

【団体・個人の方】(株)つくばウェルネスリサーチ SWC推進部 E-Mail:kyogikai.info@twr.jp

04-7197-2360